

防災フェスタ

地域と子どもを守るため地域のあり方を考える

日時： 10月30日(日) 9:30～15:15
 場所： 大原小学校(体育館、グラウンド、教室の一部)

※詳細につきましては、10月中旬ころ全戸配布します

主な内容

- ・スタンプラリー形式で防災体験
(達成者には、お楽しみ景品あり)
- ・ハイゼックスでの炊き出し体験
ハイゼックスコーンご飯と豚汁の昼食を提供
- ・避難訓練
- ・消防音楽隊による演奏など



避難・消火

- ① 煙避難体験
- ② 消火器体験
(水消火器訓練)
- ③ 起震台による転倒防止対策



展示

- ⑭ 消防車両の展示
- ⑮ 防災釜戸等展示
- ⑯ 防災持ち出し袋の展示・説明
- ⑰ 薪、米、水、缶詰、非常食の展示
- ⑱ 簡易シート、ポリタンク等活用例の展示
- ⑲ 防災グッズ、浄水器等の展示
- ⑳ 防災トイレの展示
- ㉑ 防災倉庫の展示



救護

- ④ 心肺蘇生訓練
- ⑤ 簡易たんか作りの体験



生活

- ⑥ 避難所の設営体験
- ⑦ ダンボールトイレ製作体験
- ⑧ ダンボールベッド製作体験
- ⑨ 紙食器、組手什製作体験
- ⑩ 土のう作り体験
- ⑪ バケツリレー体験
- ⑫ 言語・情報弱者の防災体験等
- ⑬ 車いすの移動体験



災害事例

- ⑳ 災害写真、被災地写真の展示

消防音楽隊による演奏もお楽しみください

体育館にて午後2時より演奏が始まります。甲賀広域行政組合消防本部に所属する消防音楽隊は、平成8年4月に結成され、消防職団員の士気高揚を図るとともに、消防諸行事、式典をはじめ、管内の各種行事等に出場し、音楽を通じ市民の皆様に防火・防災を呼び掛けています。



防災講演会のお知らせ

いざ、災害が発生したら?

「自主防災」ここがポイント!

場所 かふか生涯学習館 2階 研修室
 講師 地域防災アドバイザー

能登川地区まちづくり協議会
 事務局長兼安全安心事業部長

今井 陸之助さん



日時 10月15日(土) 19:30～21:00

内容

- ① いざ、災害が発生したら、どんな状況になるのか?
- ② 生活はどうなるの? まず何をやるの?
- ③ 自治会がすることは?
- ④ 災害に備えた仕組みづくり など

担当： 生活環境部会

櫛野地区で避難体験を実施

8月28日、櫛野区では、地震を想定し避難訓練が実施されました。

「和歌山沖にて地震が発生しました。区民の皆様は、安全を確保し、緊急に避難して下さい。」という緊急(訓練)放送が流れ、区民は小雨の中、第一次避難場所へ迅速に避難しました。区では対策本部を設け、反省点や今後の課題について検討されました。



熊本災害ボランティア活動から得た2つの地域の教訓

6月24日から27日に熊本県阿蘇郡西原村、上益城郡益城町等で、災害支援ボランティアに参加したレポートです。

西原村の復興に昼夜尽力されている村会議員の宮田さんに、村の復興とこれからのことについて聞かしてもらった。日頃の避難訓練が役に立ったという。



住民の名前や生年月日、職業を記したリストがあり、地域内の共助において、看護、保育、大工などの職業を生かすことができた。

一方、熊本市により近いベッドタウンの益城町島田地区に入ると、周囲の家が軒並みに倒壊し、138軒中10軒のみが居住可で、テント生活している人や一部壊れた小屋に寝泊まりしている人々がいた。情報は避難所まで取りに行かないといけな。区や組で集まって何かしようとする動きもない。いつ瓦礫を撤去し元の生活に戻れるか目途が立たず、避難所、テント、一部車上暮らしをしてただ行政の動きを待っている。余震のトラウマで避難所に行っても熟睡できない人も沢山いる。先行き不安な中、孤立した状態にいる人も多い。地域の自治力、人と人の繋がりが問われている。(防災士 中島)